

東京都教職員研修センター紀要

第 1 号

目 次

世界の中の日本人としてのアイデンティティをはぐくむ教育に関する研究	-----	1
家庭教育支援に果たす学校の役割に関する研究	-----	3 1
総合的な学習の時間の実施状況に関する研究	-----	7 3
西部山間・島しょ地区の教育に関する研究	-----	9 3

2 0 0 2 . 3

あ い さ つ

東京都教職員研修センター所長

小 田 原 榮

東京都教育委員会は、これまでの硬直的で閉鎖的な学校教育を改め、都民に信頼される学校教育の実現を目指し、人事考課制度や主幹制度の導入など様々な制度改革や学力向上の施策に鋭意取り組んでいるところです。

国においても、中央教育審議会答申や教育改革国民会議の提言等を受けて教育関連法の改正が行われ、新しい時代に生きる児童・生徒の育成に向けた教育改革が進められています。

しかし、これらの制度改革や施策を実のあるものとするためには、幼児・児童・生徒の教育に直接携わっている教職員の資質能力の向上と力量の発揮以外にないと言っても過言ではありません。

東京都教職員研修センターは、昨年4月にこれまで各研究所や教育庁各部で行っていた研修・研究を一元化して新しいスタートを切り、この1年間、教職員の資質能力の向上と力量の発揮を目指して、研修・研究に邁進して参りました。

今、グローバル化が進む中で、世界の中の日本人として一人一人が自らにふさわしい生き方を実現するためには、次代を担う子どもたちにどのような力を育成することが必要かを明らかにし、アイデンティティをはぐくむ教育を推進することが喫緊の課題となっています。また、「心の東京革命教育推進プラン」の実現に向けて、学校教育の役割についての問い直し、「開かれた学校」として家庭・地域の教育力の向上につながる支援を充実させることが求められています。さらに、新教育課程の全面実施が目前に迫る中で、小・中・高等学校での総合的な学習の時間の適切な実施に向けた取組や、小規模・少人数指導、盲・ろう・養護学校での自立活動の推進等も求められています。これらの課題に加えて、人権教育、幼稚園教育等の課題に対応するため、平成13年度、本センターでは、指導主事と教員研究生の共同研究として巻末に示す12の研究を推進しました。

本報告書には、

世界の中の日本人としてのアイデンティティをはぐくむ教育に関する研究

家庭教育支援に果たす学校の役割に関する研究

総合的な学習の時間の実施状況に関する研究

西部山間・島しょ地区の教育に関する研究

のまとめを掲載し、学校教育の充実発展に資するものとしてそれぞれの課題の基本的な考え方や具体的な提言をしています。これらを各学校において学校評価や教育課程の編成、年間指導計画の作成等の視点として活用するのみならず、授業に取り入れたり、学年会や保護者会で取り上げたりすることを期待します。

最後になりましたが、本センターで実施した研究の調査に御協力いただきました各学校及び、調査委員の方々にお礼申し上げます。

平成14年3月